

旧松井家屋根葺き:10月29日、秋の一斉茅刈り:11月12日、重伝建40周年記念事業:12月18日！！

守る会ホームページ！！ <http://shirakawa-go.com/~ogimachi>

ね

そ

白川郷荻町集落の自然環境を守る会

発行 平成28年9月号

荻町重伝建40周年記念事業・事前学習会開催！！

皆さんが暮らす荻町合掌造り集落は、昭和51年9月に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されてから、今年で40周年の節目を迎えます。そこで守る会では、昨年の世界遺産20周年の『つなぐ』を受けて、さらなる地域の『つなぐ』意識の共有を深めるため、将来を担う若年層が参画する『つなぐ』をテーマとしたワークショップを12月18日（日）午後1時に開催します。ここで言うワークショップとは、参加者全員による話し合いのことを意味します。次代を担う子どもたちや青年、今を頑張る住民の方々、そして荻町を守り築き上げてきたお爺ちゃんお婆ちゃん。世代を超えて参加者がつながり、一つになる話し合いの場を創出したいと考えています。また、当日のワークショップのコーディネート（司会・運営）は、白川郷学園の子どもたちに担っていただこうと考えています。子どもたち目線の質問や意見から、大人の『つなぐ』ことに対する考えを引き出したいと思っています。

そこで夏休みのラジオ体操後の時間を活用して、子どもたちを対象とした事前学習会を2回開催しました。「農業」をテーマに以下のお2人に語っていただきました。



【第2回事前学習会、鈴木雅彦氏の楽しく熱い語り！】

◎8月23日朝、第1回テーマ:農業「農業と景観」 講師:和田 正人氏

- ・守る会の概要と子どもたちへの12月のワークショップ参画のお願い。みなさんの力をぜひ！！
- ・45年前に守る会結成、40年前に重伝建の選定。長い年月をかけて合掌を守ってきたんだよ。
- ・どの写真を見てもわかるように、合掌造りのまわりには水田が広がっています。合掌と農山村の景観が、日本を代表する文化として認められ、世界遺産に選ばれたんだよ。
- ・昔の田植えや稲刈りは、合掌の葺替えと同じ「結」によって行われていたんだよ。
- ・産業としての農業だけでは生活が成り立たない現在でも、多くの住民が「ご先祖様から預かった農地を守ろう」、「世界遺産の景観を守ろう」と、頑張ってくれているんだよ。

◎8月25日朝、第2回テーマ:農業「農業を守る取り組み」 講師:鈴木 雅彦氏

- ・役場で農業担当を永年やってきました。荻町住民の一員として、ご恩返しのもつもりでお話します。
- ・農業は生きるために行うもの。収穫のために農地を守った結果が美しい景観につながったんだよ。
- ・農業は1次産業。村では、農業、製造、サービス業を一体とした6次産業化にも力を入れています。
- ・荻町広場はおよそ1反。そこで白いお米が400 Kg、約8000個のおにぎりができるんだよ。
- ・村の人口は1668人。荻町の人口は550人で平均年齢は47歳。荻町で農業を行っている人は約80人で平均年齢は66歳です。農業を行っている人の年齢は20歳ほど高いです。これは荻町や白川だけでなく全国的にも同じ。だから、若い人たちに農業に関心もってもらおうと、村でも国でも、補助金や研修の機会をつくる取り組みを行っているんだよ。
- ・荻町の農地は約40ha（学校のグラウンド40個分）。その内作っているのは半分の20ha。合掌財団さんでは、景観をよくする目的で休耕地の復元に頑張ってくれているんだよ。
- ・農業は食料生産以外に、住民の絆や観光客への癒し・やすらぎを与える力をもっているんだよ。
- ・私の父母は今でも農業を頑張っています。そのことに感謝し、私も頑張ろうと思います。
- ・農業をしている方をみかけたら、ぜひ声をかけて皆さんの元気をわけてあげてね。

子どもたちの真剣なまなざし。話し手の熱い語り。たった20分の時間ではありましたが、農業を通して『つなぐ』にふれる貴重な時間を共有できました。講師の方々、参加くださった子どもたちに感謝申し上げます。今後は「農業」以外にも、集落内の行事や白川郷学園のふるさと学習とリンクしながら、「祭り」「民謡」「合掌」をテーマに、事前学習会を開催の予定です。こう、ご期待！！ 【文責:尾崎】

荻町合掌集落の景観に関する懇談会開催！！

8月26日夜、荻町公民館にて見出しの会を開催しました。これは荻町の景観の維持改善に努めることを目的に平成19年にスタートした会合で、今回が通算10回目の開催となります。各種団体の代表者、観光協会、役場観光振興課、教育委員会文化財係、守る会より、11名の皆さんにお集まりいただき意見交流を行いました。以下に概要の一部を掲載します。

◎各団体の取り組み状況

- ・観光振興課：近年の観光客増及び外国人客の推移、交通対策やバスターミナルの整備について説明。外国人レンタカーに対する看板の強化が成果を上げている。
- ・教育委員会：外国人の歩きタバコを注意する看板設置にむけ進行中。茅刈りイベントの継続や茅場の造成、合掌以外の石積みや水路等の環境物件特定の進捗状況について説明。
- ・観光協会：守る会の委託を受け、青年部がオオハンゴンソウの除去作業を実施。その他、苦情対応に力を。
- ・土産物組合：外に並べる商品の制限、自動販売機のゴミ箱設置への配慮を継続して。
- ・飲食店組合：看板やソフトクリームのディスプレイ設置に対して、景観への配慮を継続中。
- ・小呂観光推進協議会：バスターミナルの移動にともない組織の再編を。城山展望台のバスの発着場についても検討を要望中。また、民家園のライトアップが好評。今後も継続したい。
- ・守る会：毎月の定例会での現状変更申請の審議・研修会等を通して、景観保全への意識の向上と組織のレベルアップを。また重伝建選定40周年にむけ、子どもたちへの事前学習会も開催中。



[少しでも景観がよくなるよう話し合いを]

◎景観に関する意見交流

- ・白川村の景観条例に関わり意見交流。村全域が景観条例の区域に。伝建地区の荻町は世界遺産のコアゾーンであり、重要景観形成地区となっている。荻町は伝建の条例で細部にわたり守り、村全体は景観法で守っている。
 - ・喫煙所について意見交流。合掌家屋の軒下にあるのはいかがなものか。また喫煙場所も多い。しかし、喫煙所が無くて他でタバコ吸うのはもっと問題。昔、JTが灰皿を提供。ポイ捨て防止のためには喫煙所が必要。さらに外国人の喫煙者が増えたためなおさら。現時点での結論として、景観上は少ない方がよいが、特殊な地域の安全を考えると必要。同時に設置者の灰皿の管理徹底もお願いしたい。
 - ・消火栓の格納庫を鉄から木製へ、景観に適したものに順次取り替えをお願いしたい。以上。
- (・・・さらに詳しい会議メモをご覧になりたい方は、守る会役員にご連絡ください。)

[文責：和田]

守る会活動スローガン ～守る・くらす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

＝ 8月の活動報告 ＝

- 8月 1日 白川村伝建審議会(役場・会長、副会長)
- 8月 2日 40周年記念事業に関わる打ち合わせ会(役員他)
- 8月 9日 8月定例会・役員会
- 8月 10日 ねそ8月号配付
- 8月 15日 荻町区盆踊り(荻町公民館主催)
- 8月 18日 新聞社取材(会長) ↓40周年事業事前学習会(和田)
- 8月 23日 JNT旧松井家・旧寺口家管理運営委員会
- 8月 25日 40周年記念事業事前学習会(鈴木雅彦講話)
- 8月 26日 荻町合掌集落の景観に関する懇談会

※10月の定例会は、7日(金)公民館会議室にて開催を予定しています。

◎区民の皆様へ・・・建物や土地などの現状を変更する場合は、許可が必要です。必ず現状変更申請を行ってください。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は教育委員会に提出を。これは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆さんのご理解ご協力をよろしくお願い致します。

☆9月の協議事項(現状変更申請に関わって)☆

***** 2階増築

***** 既存サッシ撤去

***** 休耕水田を花畑等に変更

***** 建具の取替え

※『H29年度集落整備事業要望書』をご記入の上、各組委員へ提出ください。10月定例会にて合掌財団に提出します。

※9月の組寄合にて、旧松井家屋根葺き、秋の一斉茅刈りへの参加希望を、各組守る会委員にお知らせ下さい。